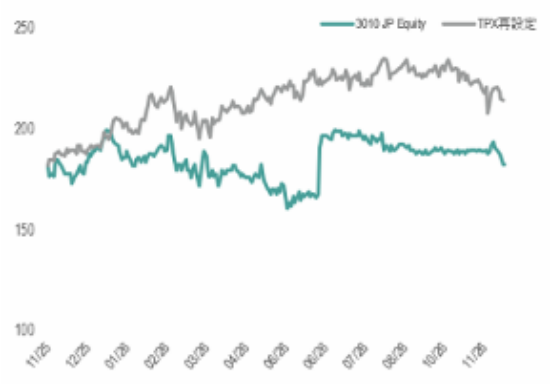
面談・コールご依頼はこちら

ポラリス・ホールディングス（3010）

長期的な規模拡大を推進

2026 年 11 月 19 日

株価: 183 円　　時価総額: 428 億円



出所：ブルームバーグ

2027 年 3 月期 2Q 決算アップデート

- **明るいシグナル** – ポラリス HD の 2027 年 3 月期上期決算は、持続的な前年比増収、新規開業ホテルの継続的増加、第 2 四半期利益率の前四半期比改善などの心強い動きが見られた。2025 年の万博特需の反動で近畿エリアが低迷したものの、需要全般は引き続き底堅く、国内比較対象ホテル客室稼働率は 89.5%と高水準を維持した。最大のハイライトは新規出店に関する契約獲得件数が 20 件と前年同期の4件から 5 倍に増加したことで、その結果、運営予定のホテル数は 38、客室数は 4,079 室（現在の運営客室数の約 28%に相当）に達した。これは、運営プラットフォーム拡大に向けたビジビリティと潜在収益力の大幅な向上につながる。

新規開業ホテルが引き続き増加

- **新規開業が売上成長を牽引** – 新規開業ホテルは 2027 年 3 月期上期の前年同期比増収額の約 93%を占め、既存ホテルの売上高は同 0.7%増にとどまった。近畿エリアを除く既存ホテルの売上高は前年同期比 4.2%増加したが、営業利益は運営費用の増加と新規出店に伴う関連費用の前倒し支出により同 3.5%減となった。2027 年 3 月期通期会社予想は維持され、下期も収益性向上が持続する見通しであることを示唆した。
- **バリュエーション** – 当社の業績予想を据え置いたことを踏まえると、2028 年 3 月期予想 PER は 14.1 倍となる（当社予想では、のれん償却後営業利益は前年比+18.2%、EBITDA は同+14.6%の成長を見込む）。FCF 利回りは 17.3%、配当利回りは 5.5%となる。

年度末	3/25	3/26	3/27CE	3/27E	3/28E	3/29E
売上高（10 億円）	27.88	48.47	54.50	54.71	63.08	74.12
営業利益（10 億円）	2.80	4.04	4.20	4.38	5.17	6.30
純利益（10 億円）	2.61	4.60	1.60	1.98	3.05	3.77
EPS（¥）	16.90	19.66	6.84	8.49	13.02	16.11
DPS（¥）	3.00	5.00	10.00	10.00	10.00	11.11
売上高伸び率（%）	+23.7	+73.8	+12.4	+12.9	+15.3	+17.5
営業利益成長率（%）	-17.1	+44.1	+3.9	+8.3	+18.2	+21.8
純利益成長率（%）	-20.8	+76.1	-65.2	-56.8	+53.4	+23.7
EPS 成長率（%）	-37.1	+16.3	-65.2	-56.8	+53.4	+23.7
PER（x）	10.8	9.3	26.8	21.6	14.1	11.4
EV/EBITDA（x）	15.2	9.0	-	7.5	6.6	5.6
EV/売上高（x）	2.3	1.3	1.2	1.2	1.0	0.9
PBR（x）	1.5	1.3	-	1.3	1.4	1.4
ROE（%）	9.2	14.3	-	6.2	9.8	12.0
ROCE（%）	4.8	6.7	-	7.7	9.8	12.5
FCF 利回り（%）	13.5	12.3	-	14.2	17.3	14.6
配当利回り（%）	1.6	2.7	5.5	5.5	5.5	6.1

出所：会社データ、アストリス・アドバイザリー（推定）

リターン

	年初来	1M	3M	12M
絶対（%）	-3.7	-3.2	-3.2	+0.5
相対（%）	-14.1	+3.0	+1.6	-14.6

セクター

不動産管理/サービス事業
ホテル・レストラン・レジャー（GICS）

株式情報

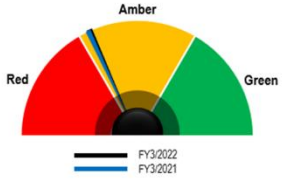
株価（円）	183
時価総額（10 億円）	42.8
時価総額（100 万ドル）	268.1
52 週レンジ（円）	161-212
発行済株式数（100 万株）	234.1
日次平均出来高（100 万ドル）	0.2
浮動株（%）	23.8
外国人株式保有比率（%）	87.1
コード	3010
取引所	Tokyo Standard
純有利子負債/自己資本（倍）	4.4
FFO レバレッジ（倍）	3.8
ブルームバーグ 買い｜ホールド｜売り	0|0|0

出所：ブルームバーグ

事業概要

ポラリス・ホールディングスは、旗艦ブランドであるココホテルズを中心とする国内ホテルチェーン及びフィリピンにおいてレッド・プラネットホテルを展開するホテル運営会社である。2026 年 10 月にマスターブランド「Polaris Hotels & Resorts」を立ち上げ。同社は、ミナシアとの経営統合により運営プラットフォームの飛躍的な拡大を実現し、更なる利益成長を推進している。

アストリス-サステナビリティ ESG レーティング



参考格付け	
MSCI	N/A
Sustainalytics	N/A
Refinitiv	N/A
S&P Global	N/A
Bloomberg	N/A

イベント予定日

2027 年 2 月：2027 年 3 月期 3Q 決算（予定）

電話：+81 3 6868 8797
E メール：Corporateresearch@astrisadvisory.com

本レポートは同社から委託され、支払いを受けて作成されている。

直近の業績

27 年 3 月期第 1～2 四半期決算

国内新規開業ホテルの売上高が上期の前年同期比増収額の約 93%を占める

主要財務データ

(10 億円)	2026 年 3 月期 第 1～2 四半期	2027 年 3 月期 第 1～2 四半期	前年比伸び率 (%)
売上高	**22.99**	**24.82**	**+8.0**
国内既存運営ホテル	20.36	20.50	+0.7
国内新規開業ホテル	0.48	2.19	+353.0
その他	2.15	2.13	-0.6
売上高総利益	22.08	23.79	+7.7
売上高総利益率(%)	*96.0*	*95.9*	
営業利益/(損失)	**1.94**	**1.42**	**-26.7**
営業利益率(%)	***8.4***	***5.7***	
のれん償却	**0.65**	**0.65**	**-**
営業利益(のれん償却前)	**2.59**	**2.08**	**-20.0**
営業利益率(のれん償却前)(%)	***11.3***	***8.4***	
経常利益/(損失)	1.35	0.86	-36.4
親会社株主に帰属する純利益/(損失)	1.10	0.48	-55.8

出所: 会社データ

近畿エリアの減収、ホテル運営費用の増加、新規出店に伴う関連費用の前倒し計上により利益率が前年同期比低下

事業セグメント別データ(セグメント間取引消去前)

(10 億円)	2026 年 3 月期 第 1～2 四半期	2027 年 3 月期 第 1～2 四半期	前年比伸び率 (%)
売上高			
ホテル運営事業	22.98	24.72	+7.6
ホテル投資事業	0.01	0.10	N/A
営業利益/(損失)			
ホテル運営事業	2.43	1.94	-20.3
ホテル投資事業	0.01	0.10	N/A
営業利益率			
ホテル運営事業	*10.6*	*7.8*	
ホテル投資事業	*100.0*	*100.0*	

出所: 会社データ

売上高と営業利益の四半期推移

(10 億円)	26 年 3 月期 第 1 四半期	26 年 3 月期 第 2 四半期	26 年 3 月期 第 3 四半期	26 年 3 月期 第 4 四半期	27 年 3 月期 第 1 四半期	27 年 3 月期 第 2 四半期
売上高	11.26	11.73	13.05	12.44	12.09	12.74
営業利益(のれん償却前)	1.26	1.34	1.50	1.26	0.97	1.10
営業利益率(のれん償却前)(%)	***11.1%***	***11.4%***	***11.5%***	***10.1%***	***8.1%***	***8.6%***

出所: 会社データ

決算ハイライト

2027 年 3 月期上期は、前年同期比増収、ホテル新規開業の大幅な進展、第 2 四半期営業利益率の前四半期比改善(のれん償却前で第1四半期の 8.1%に対し第 2 四半期は

8.6%）というポジティブな動きがあった。最大のハイライトは新規出店に関する契約獲得で、上期の獲得件数は 20 件と前年同期の 4 件の 5 倍に増加した。その結果、運営予定のホテル数は 38、客室数は 4,079 室（運営予定客室数は現在の運営客室数の約 28%に相当）に達した。これにより、運営プラットフォーム拡大に向けたビジビリティと潜在収益力が大きく向上する。

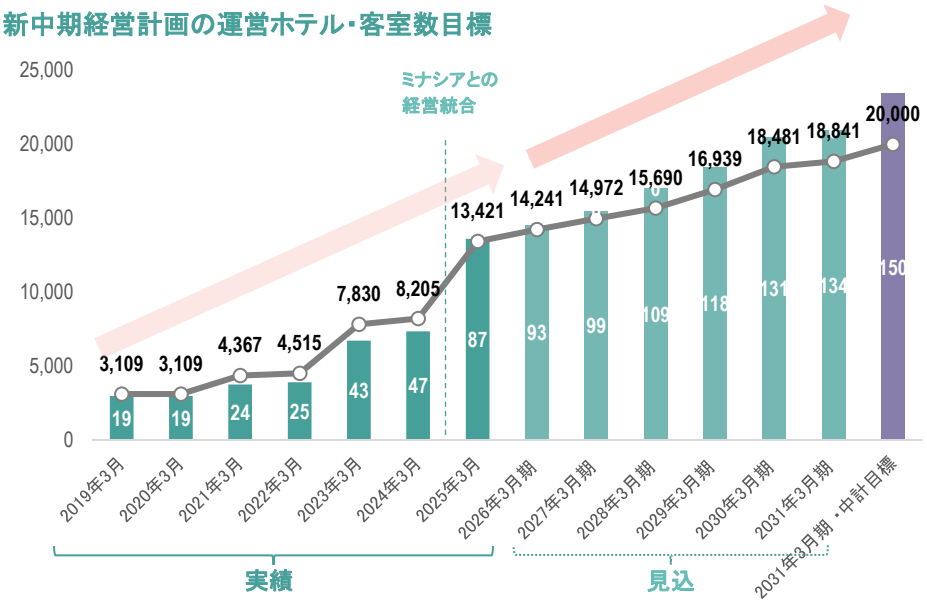
需要全般は引き続き底堅いもようだが、ばらつきがあり、インバウンドは広範な追い風にはなっていない。国内比較対象ホテル（67 ホテル）における上期の客室稼働率は 89.5%と高水準を維持したものの、ADR は前年同期比 0.1%低下し、RevPAR も同 0.6%の低下となった。低迷が目立ったのは近畿エリアで、万博特需の反動と中国人客の減少により RevPAR が前年同期比 24.7%低下した。2026 年 9 月に国内比較対象ホテルの RevPAR が前年同月比 5.2%増に回復したことは心強いが、これは東海エリアでのアジア大会効果により押し上げられた面もある。

新規開業ホテルは 2027 年 3 月期上期の前年同期比増収額の約 93%を占め、既存ホテルの売上高は同 0.7%増にとどまった。近畿エリアを除く既存ホテルの売上高は前年同期比 4.2%増加したが、営業利益は運営費用の増加や新規出店関連費用の前倒し計上により同 3.5%減少した。

全体としては、経営陣は長期的な規模拡大を引き続き推進しており、運営予定ホテル数と客室数の増加が今後の売上成長見通しの改善につながっているという点で、当社はこれを前向きに評価している。

持続可能な成長を目指す

新中期経営計画の運営ホテル・客室数目標

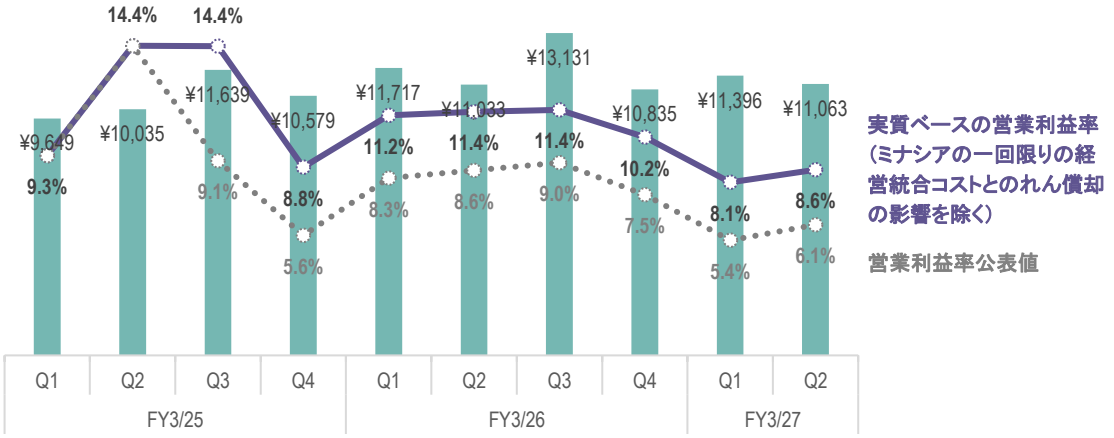


出所: 会社データ

2027 年 3 月期通期会社計画が維持されたことは、一定の安心材料になる。プラス要因として、2026 年 10 月中旬以降は万博の反動が一巡するとみられることと、東海エリアでのアジア大会効果や熊本の復興需要が見込まれることが挙げられている。しかし、ミナシアと大半の海外ホテルの業績は 3 ヵ月遅れで連結財務諸表に反映されるため、改善傾向がグループ全体の業績に表れるまでにはしばらく時間がかかるだろう。

国内運営ホテルの RevPAR は安定

営業利益率(%)と国内の RevPAR(円)の四半期別推移

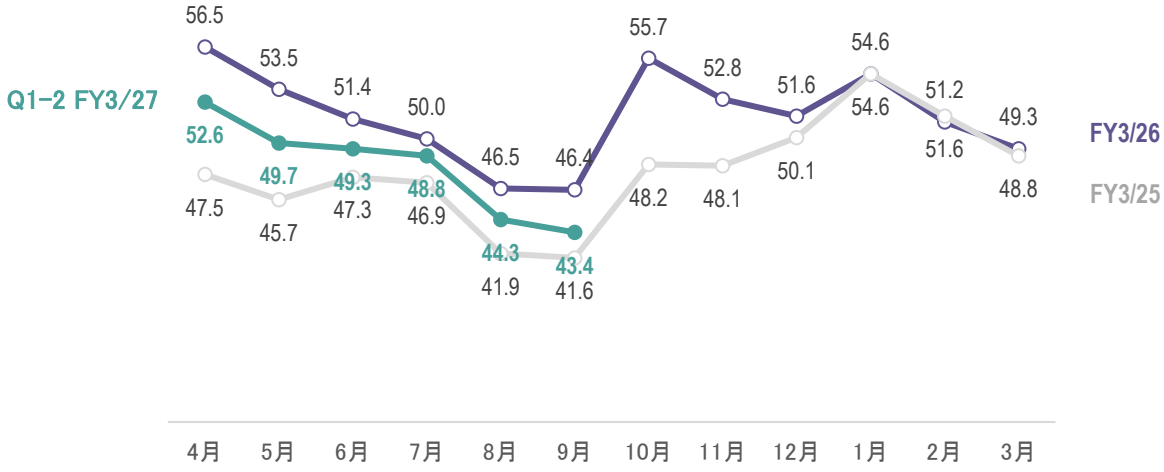


出所: 会社データ
注:国内の四半期平均 RevPAR はアストリス・アドバイザリーが算出。

インバウンド需要の比率は、引き続き 2025 年 3 月期と 2026 年 3 月期の中間あたりで推移している。

インバウンド比率は 2026 年 3 月期の高水準から正常化しつつある

延宿泊者数のインバウンド比率(%)の推移



出所: 会社データ

2027 年 3 月期通期会社予想を維持

2027 年 3 月期通期会社予想は据え置かれた。主な前提は以下のとおり。

- RevPAR の前年比 5%の増加（既存ベース）と 6 ホテルの新規開業（ホテル総数は 99 に到達）が売上成長を牽引。
- 総運営客室数が 14,241 室から 14,972 室へ増加（前年比+731 室、+5.1%。契約締結済みで詳細未開示のホテルを含む）。なお、2026 年 9 月末時点の総運営客室数は 14,762 室。
- 新中期経営計画（2027 年 3 月期～2031 年 3 月期）では、既存ホテルの運営費用が年率 3%程度上昇すると想定。既存ホテルの競争力強化や IT/AI システムへの投資は中長期的な利益率拡大につながる見込み。

通期会社予想は前年比成長の継続を見込む

2027 年 3 月期通期会社予想

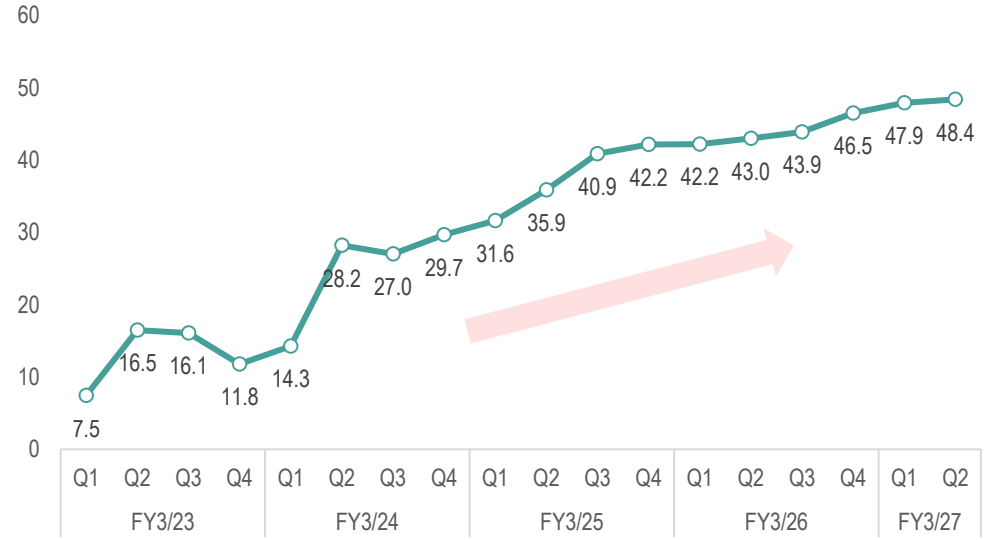
(10 億円)	26/3 期	27/3 期 会社予想	前年比伸び率 (%)
売上高	**48.47**	**54.50**	**+12.4**
営業利益/(損失)	**4.04**	**4.20**	**+3.9**
営業利益率(%)	*8.3*	*7.7*	
営業利益(のれん償却前)	**5.35**	**5.50**	**+3.0**
営業利益率(のれん償却前)(%)	*11.0*	*10.1*	
経常利益/(損失)	2.90	3.00	+3.6
税引前当期純利益	2.84	N/A	
法人税等合計	(1.76)	1.40	-
実効税率 (%)	*-61.9*	*46.7*	
親会社株主に帰属する純利益/(損失)	4.60	1.60	-65.2
EPS (¥)	19.66	6.84	-65.2
DPS (¥)	5.0	10.0	+100.0
配当性向(%)	25.4	146.2	
ホテル数	93	99	+6.5
客室数	14,241	14,972	+5.1

出所: 会社データ
*注: 2027 年 3 月期は経常利益と税引前当期純利益が等しくなると想定。

追加的な投資活動（M&A、提携、ホテル投資）の余地は、自己資本の継続的拡大により支えられている。以前に比べ、資本配分の柔軟性は向上している。

自己資本は継続的に拡大

自己資本比率の四半期別推移（%）

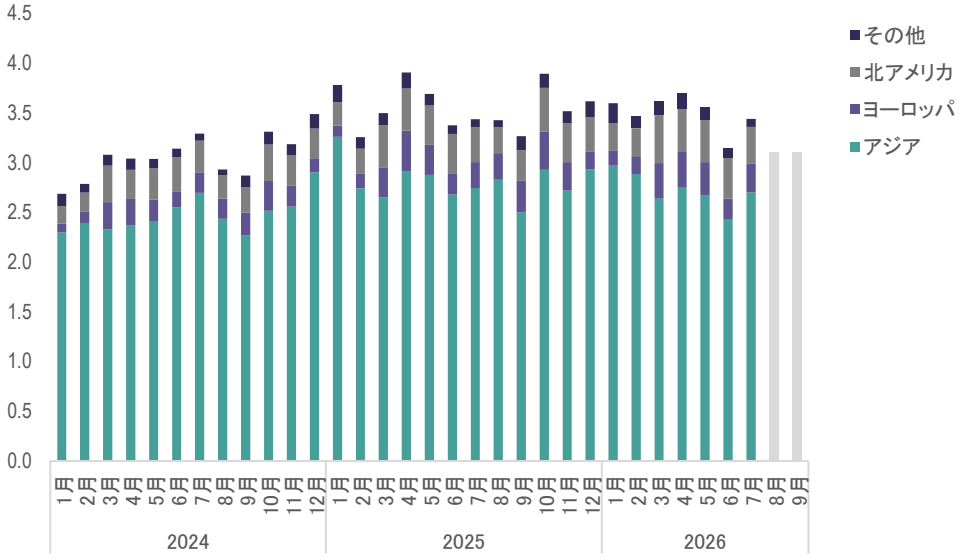


出所: 会社データ

市場環境

訪日旅行者数の伸びは正常化局面へ

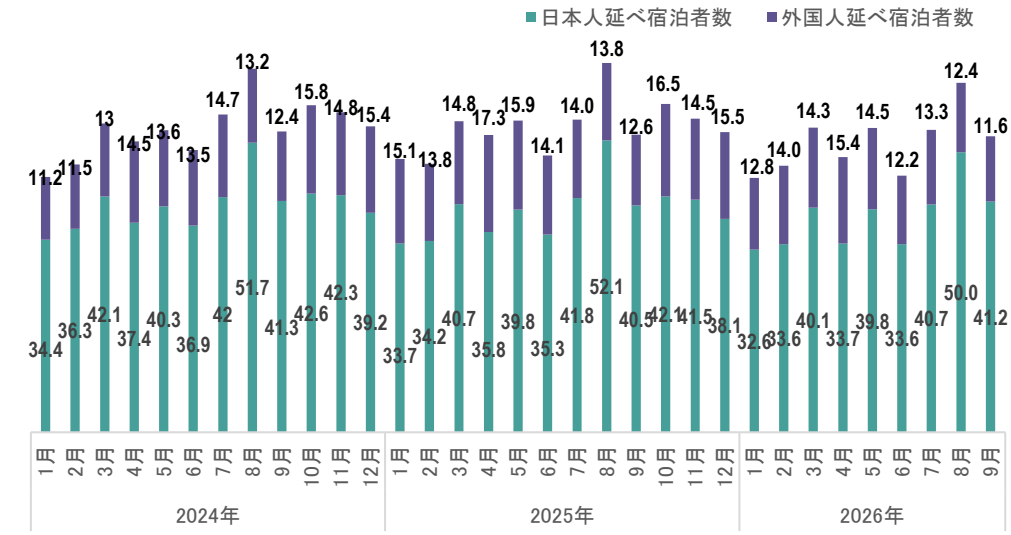
訪日旅行者数の月別推移（百万人）



出所：日本政府観光局
*注：2026 年 8 月、9 月の地域別内訳は未発表。

延宿泊者数は 2026 年 9 月に前年同月比で安定

延宿泊者数の推移（百万人）



出所：観光庁

当社の業績予想と主な前提条件

当社は 2027 年 3 月期以降のポラリス HD の業績予想を維持した。主な前提は以下のとおり。

- **売上成長** – 具体的なホテル出店計画と RevPAR の前年比増加が売上成長の原動力になると想定。
- **利益率の見通しは不変** – 営業利益率の予想は 2027 年 3 月期を 8.0%、2028 年 3 月期を 8.2%維持した。中期経営計画で高付加価値型ホテルのラインナップ拡充により ADR を向上する戦略が示されていることから、利益率拡大は可能と判断する。
- **税率が正常化するまでは、FCF が事業パフォーマンスをより正確に反映** – 2026 年 3 月期の繰延税金資産計上は、収益性が今後も持続可能であることを意味する。EPS 公表値が税効果会計により一時的に歪められるため、PER は実質的な事業モメンタムやキャッシュ生成能力を十分に反映しない可能性がある。繰越欠損金の活用が終了するまでは、FCF ベースのバリュエーション指標のほうが実質的なファンダメンタルズの状況をより正確に反映すると考える。

当社の業績予想に変更なし

アストリス・アドバイザリーの業績予想

年度末	27/3 期 会社 予想	27/3 期 当社 予想	28/3 期 当社 予想	29/3 期 当社 予想
売上高 (10 億円)	**54.50**	**54.71**	**63.08**	**74.12**
成長率(%)	*+12.4*	*+12.9*	*+15.3*	*+17.5*
営業利益 (10 億円)	**4.20**	**4.38**	**5.17**	**6.30**
営業利益率 (%)	**7.7**	***8.0***	***8.2***	***8.5***
EBITDA (10 億円)	**N/A**	**8.63**	**9.88**	**11.62**
EBITDA 利益率(%)	-	*15.8*	*15.7*	*15.7*
成長率(%)	-	*+19.6*	*+14.6*	*+17.6*
経常利益 (10 億円)	3.00	3.68	4.35	5.38
成長率(%)	*+3.6*	*+26.9*	*+18.4*	*+23.7*
インプライド実効税率 (%)	***46.7***	***46.0***	***30.0***	***30.0***
親会社株主に帰属する当期純利益	**1.60**	**1.98**	**3.05**	**3.77**
成長率(%)	*-65.2*	*-56.8*	*+53.4*	*+23.7*
DPS (円)	10.0	10.0	10.0	11.1
配当性向(%)	146.2	117.8	76.8	69.0
配当利回り(%)	**5.5**	**5.5**	**5.5**	**6.1**
FCF (10 億円)	**N/A**	**6.06**	**7.41**	**6.23**
FCF 利益率 (%)	-	11.1	11.7	8.4
FCF コンバージョン(%)	-	165.0	170.2	115.7
FCF 利回り(%)	**-**	**14.2**	**17.3**	**14.6**

出所：アストリス・アドバイザリー
注：FCF コンバージョンは FCF/税前利益
注*: インプライド実効税率は特別損益がないことを想定

運営プラットフォームの状況 – 2026 年 9 月 30 日時点

分類		ホテル数	客室数
運営中	国内	81	12,234
	海外	15	2,528
新規出店予定	国内	38	4,079
合計		**134**	**18,841**

出所: 会社データ

概要

ポラリス・ホールディングスは、6 つの主要ホテルブランド（国内 5、海外 1）を展開するホテル運営会社で、2023 年 1 月にレッド・プラネットのフィリピン事業、2024 年 12 月に国内ホテル運営会社のミナシアを買収し、国内第 7 位のリミテッドサービスホテルとなった。スターアジアグループによる支援のもと、安定した収益成長に注力し、2022 年以来、力強いオーガニック成長と戦略的 M&A を通じたインオーガニック成長の両輪で飛躍的な事業拡大を実現している。

現在の成長戦略は以下に重点を置いているとみられる。

市場環境に左右されない持続可能な成長に重点

- **市場シェア拡大** – ホテルの新規出店を加速し、店舗数を拡大することで、長期の需要取り込みに自信を示している。
- **ポートフォリオのリポジショニング** – 需要安定性の高いエリアへのエクスポージャーを高めるとともに、アパートメントホテル、温泉・ライフスタイルホテル、リゾートホテルのブランドラインナップを拡充する現行戦略を継続。さらに、ADR を向上するため、より高付加価値なアップスケールホテルに重点をシフト。
- **国内需要の拡大** – 「KOKO FAMILY」を刷新したグループ共通の会員プログラム「irodori pass」の開始、ブランド統合、より魅力的な株主優待制度の導入（宿泊割引券の贈呈基準と金額の一部見直し）を実施。

ポラリス・ホールディングスは以下を通じて持続可能な成長を達成すると当社は予想している。

- 国内のホテル運営プラットフォームの継続的拡大。
- 積極的な成長マインドセットを備えた経営陣の優れた執行能力。

ポラリス HD 株の 2028 年 3 月期予想 PER は 14.1 倍（予想営業利益成長率は前年比+18.2%）、EBITDA 成長率は前年比+14.6%、同 FCF 利回りは 17.3%、同配当利回りは 5.5%。

JGAAP に基づく要約財務諸表

損益計算書 (10 億円)	期 3/25	期 3/26	期 3/27E	期 3/28E	期 3/29E
売上高	**27.88**	**48.47**	**54.71**	**63.08**	**74.12**
売上原価	1.06	1.94	2.19	2.52	2.22
売上総利益	**26.82**	**46.53**	**52.52**	**60.55**	**71.90**
売上総利益率(%)	96.2	96.0	96.0	96.0	97.0
営業利益	**2.80**	**4.04**	**4.38**	**5.17**	**6.30**
営業利益率(%)	10.1	8.3	8.0	8.2	8.5
営業外収益	0.05	0.15	0.10	0.12	0.11
営業外費用	(0.96)	(1.29)	(0.80)	(0.94)	(1.03)
経常利益	**1.89**	**2.90**	**3.68**	**4.35**	**5.38**
特別利益	-	0.09	-	-	-
特別損失	(0.00)	(0.15)	-	-	-
税引前当期純利益	**1.89**	**2.84**	**3.68**	**4.35**	**5.38**
法人税等	(0.72)	(1.76)	1.69	1.31	1.61
実効税率(%)	(38.2)	(61.9)	46.0	30.0	30.0
当期純利益	**2.61**	**4.60**	**1.98**	**3.05**	**3.77**
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	**2.61**	**4.60**	**1.98**	**3.05**	**3.77**
売上高前年比伸び率(%)	+23.7	+73.8	+12.9	+15.3	+17.5
営業利益前年比伸び率(%)	-17.1	+44.1	+8.3	+18.2	+21.8
経常利益前年比伸び率(%)	-27.4	+53.0	+26.9	+18.4	+23.7
当期純利益前年比伸び率(%)	-20.8	+76.1	-56.8	+53.4	+23.7

キャッシュフロー計算書 (10 億円)	期 3/25	期 3/26	期 3/27E	期 3/28E	期 3/29E
税引前当期純利益	**1.89**	**2.84**	**3.68**	**4.35**	**5.38**
減価償却費	1.48	3.17	4.25	4.71	5.32
その他の非現金項目	0.22	0.12	0.17	0.15	0.16
運転資金の増減	0.26	(0.33)	0.19	0.03	(2.48)
法人税等の還付額・(支払額)	0.43	(0.11)	(1.69)	(1.31)	(1.61)
営業活動によるキャッシュフロー	**4.29**	**5.81**	**6.59**	**7.94**	**6.76**
設備投資	(0.48)	(0.53)	(0.53)	(0.53)	(0.53)
投資有価証券	(3.42)	-	-	-	-
その他の投資活動によるキャッシュフロー	0.03	(1.60)	(0.78)	(1.19)	(0.99)
投資活動によるキャッシュフロー	**(3.88)**	**(2.13)**	**(1.31)**	**(1.72)**	**(1.52)**
配当金支払額	-	(0.70)	(1.17)	(2.34)	(2.34)
社債発行による収入(償還による支出)	3.72	(3.00)	(3.00)	(3.00)	(3.00)
株式発行による収入	0.33	-	-	-	-
その他	-	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)
財務活動によるキャッシュフロー	**4.04**	**(3.70)**	**(4.17)**	**(5.34)**	**(5.34)**
為替影響	0.02	(0.01)	0.00	(0.00)	0.00
ネットキャッシュフロー	**4.47**	**(0.04)**	**1.11**	**0.87**	**(0.10)**
フリーキャッシュフロー(FCF)	**3.80**	**5.27**	**6.06**	**7.41**	**6.23**
EBITDA	**4.28**	**7.21**	**8.63**	**9.88**	**11.62**
FCF マージン(%)	2.4	3.4	4.4	5.4	6.4
FCF コンバージョン(%)	39.2	47.3	48.3	49.3	50.3
EBITDA 利益率(%)	15.3	14.9	15.8	15.7	15.7
設備投資/売上高(%)	0.1	0.1	1.1	2.1	3.1
設備投資/減価償却(%)	23.3	21.0	22.0	23.0	24.0
営業 CF マージン(%)	2.6	3.5	4.5	5.5	6.5

貸借対照表 (10 億円)	期 3/25	期 3/26	期 3/27E	期 3/28E	期 3/29E
現金・預金	7.51	7.52	8.63	9.50	9.39
売掛金	3.80	4.47	5.04	5.81	6.83
棚卸資産	-	-	-	-	-
その他	1.79	1.95	2.20	2.54	2.98
流動資産	**13.10**	**13.93**	**15.87**	**17.85**	**19.21**
有形固定資産	21.81	21.03	18.06	14.72	10.89
無形固定資産	25.84	24.51	23.27	22.03	20.79
投資等	6.42	9.73	9.73	9.73	9.73
固定資産	**54.07**	**55.27**	**51.06**	**46.47**	**41.41**
資産合計	**67.17**	**69.21**	**66.93**	**64.32**	**60.62**
短期借入金	2.45	2.71	2.71	2.71	2.71
買掛金	0.49	0.43	0.50	0.57	0.50
その他	5.30	6.03	6.98	8.04	7.09
流動負債	**8.23**	**9.17**	**10.19**	**11.33**	**10.31**
長期借入金	29.38	26.85	23.84	20.84	17.83
その他長期負債	1.23	1.03	1.03	1.03	1.03
長期負債	**30.62**	**27.88**	**24.87**	**21.87**	**18.87**
株主資本	**28.33**	**32.16**	**31.87**	**31.13**	**31.44**
非支配株主持分	-	-	-	-	-
純資産	28.33	32.16	31.87	31.13	31.44
負債純資産合計	**67.17**	**69.21**	**66.93**	**64.32**	**60.62**

主要指標	期 3/25	期 3/26	期 3/27E	期 3/28E	期 3/29E
収益性					
売上総利益率(%)	96.2	96.0	96.0	96.0	97.0
営業利益率(%)	10.1	8.3	8.0	8.2	8.5
当期純利益率(%)	9.4	9.5	3.6	4.8	5.1
ROA(%)	3.9	6.6	3.0	4.7	6.2
ROE(%)	9.2	14.3	6.2	9.8	12.0
ROCE(%)	4.8	6.7	7.7	9.8	12.5
ROIC(%)	9.8	10.7	3.9	6.4	8.3
流動性					
流動比率(倍)	1.6	1.5	1.6	1.6	1.9
クイック比率(倍)	1.6	1.5	1.6	1.6	1.9
負債比率					
D/E レシオ(倍)	1.1	0.9	0.8	0.8	0.7
ネット D/E レシオ(倍)	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4
自己資本比率(倍)	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	3.8	5.5	5.5	5.5	6.1
ネットデット/EBITDA (倍)	5.7	3.1	2.1	1.4	1.0
バリュエーション					
EPS(公表値)(円)	16.90	19.66	8.49	13.02	16.11
PER(倍)	**10.8**	**9.3**	**21.6**	**14.1**	**11.4**
希薄化後 PER(倍)	**10.8**	**9.3**	**21.6**	**14.1**	**11.4**
DPS (円)	3.0	5.0	10.0	10.0	11.1
配当性向(%)	17.8	25.4	117.8	76.8	69.0
配当利回り(%)	**1.6**	**2.7**	**5.5**	**5.5**	**6.1**
FCF 利回り(%)	**13.5**	**12.3**	**14.2**	**17.3**	**14.6**
希薄化後 FCF 利回り(%)	**13.5**	**12.3**	**14.2**	**17.3**	**14.6**
PBR(倍)	1.5	1.3	1.3	1.4	1.4
EV/売上高倍率(倍)	2.3	1.3	1.2	1.0	0.9
EV/EBITDA 倍率(倍)	15.2	9.0	7.5	6.6	5.6
EV/EBIT 倍率(倍)	23.1	16.1	14.8	12.5	10.3
EV/FCF 倍率(倍)	17.1	12.3	10.7	8.8	10.4

出所:会社データ、アストリス・アドバイザリー(推定)

免責事項

本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が作成したものです。本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が信頼できると考える公開情報源から入手した情報に基づいていますが、独自検証は行っていず、その正確性や完全性について保証、表明、保証をするものではありません。本レポートは、当該企業について言及すべき全事項を記載したものではなく、また、記載を試みるものでもありません。ここに記載された意見は、本レポート作成時点におけるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社の判断を反映したものであり、予告なく変更される場合があります。本レポートに記載されている将来の見通しに関する情報または記述には、仮定、今後の業績予測、未確定な金額見積もりなどに基づく情報が含まれているため、既知および未知のリスク、不確実性および、このテーマに関する実際の結果、業績または成果が現在の予想とは大きく異なる可能性をもたらすその他要因が含まれています。

本レポートは概説として作成されたものであり、特定の金融商品または戦略を個人的に推奨するものではなく、また個人的な投資アドバイスを構成するものでもありません。

アナリストは、(ⅰ)本レポートで表明する見解は、本レポートの対象である企業および証券に関する当該リサーチアナリストの個人的見解を正確に反映していること、(ⅱ)当該リサーチアナリストの報酬のいかなる部分も、直接的にも間接的にも当該リサーチアナリストが本レポートで述べた見解に過去、現在、未来を通して関連しないことをここに証明します。

本レポートは、日本法に基づき設立され、日本の金融庁の監督下にあるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社により作成されました。現地当局による規制範囲に関する詳細をご要望の場合は、弊社から入手可能です。

利益相反

本レポートは、当該企業が委託して費用を負担したものであり、MiFID Ⅱ で定義される許容可能な軽微な非金銭的利益に該当すると判断されるものです。

読者は、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が、現在、もしくは今後 3 ヶ月以内およびその後に、当該企業に対して IR/コーポレート・アドバイザリーなどのサービスを提供する、または提供することを求める可能性があることを前提とする必要があります。

記載金融証券への投資:アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、取締役、役員、従業員およびサービスプロバイダーの個人的な取引について制限的な方針をとっています。アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、投資業務を行っておらず、本レポート記載の金融証券は一切保有していません。

責任制限

アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートに基づき投資家が行った投資、売却、保有の決定に関して、いかなる責任も負わないものとします。アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートの情報に起因する直接的、間接的、偶発的、特別、または結果的損害(予見可能か否かを問わず)に対して、一切の責任を負わないものとします。

Copyright 2026 Astris Advisory Japan K.K. All rights reserved.

全著作権所有。無断転載禁止